

作成日 2019.2.18

1) 製品名 **アケルックスポリッシングペースト**

物質または混合物の関連する特定用途および 勧告された使用
関連情報はあります。

2) 製造業者/供給者情報

製造担当部門 AKEMI 研究部

FAX 06-6725-3366

2.1 物質または混合物の分類

- ・規制（EC）No 1272/2008に基づく分類
この製品はCLP規制に従って分類されていません。

- ・規制に基づく表示

(EC) No 1272/2008 無効

- ・危険ピクトグラム 無効
- ・シグナルワード 無効

- ・ラベルの決定する危険成分： 適応なし
- ・ハザード・ステートメント 無効
- ・追加情報

EUH066 皮膚接触を繰り返すと乾燥肌やひび割れの原因になる場合があります。

2.3 その他の危険有害性

- ・ PBT および vPvB 評価の結果

- ・ PBT：適応なし
- ・ vPvB：適応なし

3：成分の組成/情報

3.2 化学的特性：混合物

- ・ 説明：下記の混合物は危険な添加物は含まれません。
- ・ 危険成分：

CAS：64741-65-7

EINECS：265-067-2

インデックス番号：649-275-00-4

登録番号：01-2119472146-39

ナフサ（ペトロリウム）、ヘビーアルキレート

Naphtha(petroleum), heavy alkylate

12.5～25%



Flam. Liq. 3, H226



Asp. Tox. 1, H304

Aquatic Chronic 4, H413

- ・ 追加情報：記載されている危険フレーズの表現については、第 16 章を参照のこと。

4：応急処置

4.1 応急措置の説明

- ・ 一般情報：

製品によって汚れた衣服は直ちに除去してください。

具合が悪くなった人を新鮮な空気の中に連れて行きましょう。

呼吸困難な場合は呼吸器を装着してください。

- ・ 吸入後：

影響を受けた人を新鮮な空気の中に入れ、静かに保つ。

新鮮な空気を供給し、必ず医者に連絡してください。

意識がない場合は横向きに固定し病院へ搬送しましょう。

- ・ 皮膚接触後：

直ちに水と石鹼で洗い、よくすすいでください。

- ・ 目の接触後：

流水で数分間水をすすいでください。症状が持続する場合、医師に相談してください。

- ・ 嚥下後：

すぐに医師に相談してください。

水で口をすすぎ、十分な水を飲む。

4.2 急性および慢性の最も重要な症状と効果

呼吸困難

頭痛

めまい

胃腸疾患

失神

吐き気

- ・ 医師のための情報：

(芳香) 炭化水素（致死量約 30 g）による中毒の症状

a) 急性中毒の場合：頭痛、めまい、多幸感、胃腸機能障害、興奮状態、昏睡。

b) 慢性中毒の場合：骨髄毒性損傷、疲労、めまい、衰弱、運動後の心動悸、白血球減少症、貧血、白血病。

- ・ 危険 呼吸障害の危険性。

4.3 即時の医療的配慮と特別な治療が必要な表示

飲み込んだ場合は、活性炭を添加して胃を洗浄する。

飲み込んだ場合、または嘔吐した場合、肺に入る危険性があります。

5：消防措置

5.1 消火剤

- ・ 適切な消火剤：CO₂、粉末または水スプレー。水噴霧やアルコールの耐泡性フォームで鎮火してください。

- ・ 安全上の理由から不適切な消火剤

フルジェット水

5.2 物質または混合物から発生する特別な危険

加熱中または火災時に有毒ガスが発生することがあります。

火災が発生した場合は、次のものが放出されます。

一酸化炭素（CO）

5.3 消防士への情報

- ・ 保護器具：

保護呼吸器、完全保護服を着用してください。

爆発ガスや燃焼ガスを吸入しないでください。

- ・ 追加情報

危険にさらされた容器は水スプレーで冷やしてください。

消火した後の水はきちんと回収し、下水に入らないようにしてください。

6：漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護装置および緊急処置

十分な換気を確保する

発火源から遠ざけること。

煙、塵、エアロゾルを吸引しないよう保護呼吸器を使用すること。

保護服を着用すること。

6.2 環境に対する注意事項：

製品が下水システムや水場に到達しないようにしてください。

水路または下水道に浸水した場合は、各局に通知してください。

下水道/地表または地下水に流れ出ないようにしてください。

6.3 処理方法について：

液体結合物質（砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル バインダー、おがくず）で吸収してください。

汚染したものの廃棄は第 13 章に従って処分してください。

十分な換気を確保する。

6.4 その他の参照：

安全な取り扱いについては、第 7 章を参照してください。

個人用保護具の情報については、第 8 章を参照してください。

廃棄に関する情報については、第 13 章を参照してください。

7：取扱いと保管

7.1 安全な取扱いに関する注意事項

換気の良い場所でのみ使用してください。

エアロゾルの生成を防止する。

容器はしっかりと密閉してください。

涼しく乾燥した場所で密閉した容器に保管してください。

熱と直射日光を避けて保管してください。

・火災に関する情報（爆発防止）：

発火源から避けてください。禁煙。

可燃性物質が密閉された蒸気室に集まる場合があります。発火源を明確にしてください。

煙は空気と結合して爆発性の混合物を形成することがあります。

7.2 安全な保管と不適切な保管条件について、

・保管：

・保管場所と保管容器の条件：

涼しい場所で保管してください。

元の容器にのみ保管してください。

・共通保管施設の保管情報：

酸化性物質や酸性物質と一緒に保管しないでください。

アルカリ（苛性アルカリ溶液）と一緒に保管しないでください。

- ・保管に関する詳細情報：

容器はしっかりと密閉してください。

涼しく、乾燥した場所に保管してください。

熱や直射日光を避けてください。

霜から保護する。

7.3 特定の最終用途 関連情報はありません。

8：暴露防止/保護措置

- ・技術設備の設計についての追加情報：

それ以上のデータはありません。項目 7 を参照してください。

8.1 制御パラメータ

- ・作業場で監視が必要な制限値のある成分：

この製品には監視が必要な重要な物質は含まれていません。

- ・追加情報：

製造中に有効なリストを基に使用された。

8.2 暴露防止

- ・個人用保護具：

- ・一般保護および衛生対策：

薬品を使用中は通常の予防措置を厳守する。

食品、飲料、飼料から離してください。

休憩前と作業終了時に手を洗うようにしてください。

ガス/煙/エアゾルを吸い込まないようにしてください。

眼や皮膚に触れないようにしてください。

皮膚保護用クリームを使用してください。

- ・呼吸保護：

短時間暴露または低公害の場合は、呼吸用フィルター装置を使用してください。長期間暴露する場合は、自給式呼吸器保護具を使用してください。

短期フィルターデバイス：

フィルターA / P2

- ・手の保護：

皮膚保護剤の使用による予防的な皮膚保護が推奨されています。

手袋を着用した後、皮膚洗浄剤および皮膚軟膏を塗る。

- ・保護手袋

保護手袋の素材は製品/成分/作成に不浸透性、耐性のあるものでなければならない。

保護手袋素材を選ぶにあたり、浸透時間や拡散速度と劣化を考察する。

推奨される皮膚保護剤は保護手袋なしでも皮膚保護をできるもの。

- ・手袋の素材

ブチルゴム、BR

ニトリルゴム、NBR

推奨される素材の分厚さ： $\geq 0.75\text{mm}$

適切な手袋の選択は、材料だけでなく、さらに品質のマークが付いており、マークもメーカーによって異なります。

- ・手袋の材料の浸透時間

正確な破壊時間は、明確にする必要があります。

- ・以下の素材は保護手袋には適していません：

天然ゴム、NR

レザー手袋

強力な素材の手袋

- ・目の保護：しっかりとゴーグルで覆う。
- ・体の保護：保護服

9：物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理的および化学的特性に関する情報

- ・一般情報

- ・外観：

形：液状

色：白

- ・匂い：特定のタイプ

- ・変化の条件

融点/融点範囲：未定。

沸点/沸点範囲： 100°C

- ・引火点： 64°C

- ・発火温度： 354°C

- ・自己点火：製品は自己点火ではない

- ・爆発の危険性：爆発の危険性はない。しかし爆発性の空気/蒸気が形成されることがある。

- ・爆発限界：

下限： $0.7\text{Vol}\%$

上限： $6.5\text{Vol}\%$

- ・ 20°C における蒸気圧： 23hPa

- ・ 20°C での密度： 0.93 g/cm^3

- ・水への溶解性/混和性：不溶

- ・粘度：
 - 流動的：未定。
 - キネマティック：999s (DIN53211/4)
- ・溶媒分離テスト：<3%
- ・溶媒含有量：
 - 有機溶媒：24.9%
 - 水：60.0%

9.2 その他の情報 関連情報はありせん。

10：安定性および反応性

10.1 反応性 関連情報はありせん。

10.2 化学的安定性

- ・熱分解/避けるべき条件：仕様に従って使用された場合は分解しない。

10.3 危険な反応の可能性

酸、アルカリ、酸化剤に反応する。

10.4 避けるべき条件 関連情報はありせん。

10.5 混触危険物質： 関連情報はありせん。

10.6 危険有害な分解製品：一酸化炭素と二酸化炭素窒素酸化物（NO_x）

11：毒物学的情報

11.1 毒物学的作用に関する情報

- ・急性毒性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- ・分類に関連する LD / LC50 値：

ATE (Acute Toxicity Estimates)

吸入 LC50 / 4 時間 > 31.3mg / l (rat)

64741-65-7 Naphtha (petroleum), heavy alkylate

口腔 LD50 > 6,000mg / kg (rat)

皮膚 LD50 > 3,000mg / kg (rbt)

吸引 LC50/4 時間 > 7.8mg / l (rat)

- ・一次刺激作用：
- ・皮膚腐食性/刺激性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- ・重大な眼の損傷/刺激 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- ・呼吸器感作または皮膚感作 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- ・CMR 効果（発がん性、変異原性および生殖毒性）
- ・生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- ・発がん性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- ・生殖毒性 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。

- ・ STOT - 一回暴露 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- ・ STOT - 繰り返し暴露 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。
- ・ 吸引の危険 利用可能なデータに基づいて、分類基準は満たされない。*

12：生態学的情報

12.1 毒性

- ・ 水生生物毒性：利用可能な関連情報はありません。

12.2 持続性と分解性 利用可能な関連情報はありません。

12.3 生物濃縮の可能性 利用可能な関連情報はありません。

12.4 土壌中の移動性 利用可能な関連情報はありません。

- ・ その他の生態学的情報：
- ・ 一般的な注意事項：

製品が地下水、水路または下水道システムに到達しないようにしてください。

水危険有害性クラス 1（ドイツの規制）（自己評価）：水にやや有害

12.5 PBT および vPvB 評価の結果

- ・ PBT：適用なし
- ・ vPvB：適用なし

12.6 その他の悪影響 関連情報はありません。

13：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理法

- ・ 推奨事項 家庭ごみと一緒に処分してはならない。製品を下水道に流さないこと
- ・ ヨーロッパの廃棄物カタログ

12 00 00 金属やプラスチックの物的および機械的表面処理からの廃棄物

12 01 00 金属やプラスチックの物的および機械的表面処理からの廃棄物

12 01 09* ハロゲンを含まない溶液と加工滑剤

08 00 00 製造や製剤、供給および使用（MFSU）のコーティング（塗料、ニスやエナメル）接着剤、シーリング剤および印刷インクからの廃棄物

08 01 00 MFSU からの廃棄物および塗料とニスの除去

08 01 12 08 01 11 に記載されている以外の塗料およびニスの廃棄

- ・ 清潔でない包装：
- ・ 推奨事項：

廃棄は地域の規制に従って行わなければなりません。

汚染されていない包装は再利用できます。

14：輸送情報

14.1 UN 番号

- ・ ADR、AND、IMDG、IATA 無効

14.2 UN 正式輸送名

- ・ ADR、AND、IMDG、IATA 無効

14.3 輸送危険有害性クラス (ES)

- ・ ADR、AND、IMDG、IATA
- ・ クラス 無効

14.4 パッキンググループ

- ・ ADR、IMDG、IATA 無効

14.5 環境有害性：

- ・ 海洋汚染物： なし

14.6 特別な予防措置 適応なし**14.7 マルポールと IBC コードの Annex II に従って一括輸送適応なし**

- ・ 国連「モデル規制」：無効

15：規制に関する情報**15.1 物質または混合物に特有の安全、健康および環境規制/法規**

- ・ 指令 2012/18 / EU
- ・ 命名された危険物質・付属書 I どの成分もリストされていません。
- ・ 国内規制：
- ・ 使用制限に関する情報：
 - 少年に関する雇用制限を遵守しなければならない。
 - 妊娠中および授乳中の女性に関する雇用制限は、遵守しなければならない。
- ・ ウォーターハザード・クラス：
 - 水危険性クラス 1（自己評価）：水に少し危険です。
- ・ VOC EU 232.5g/l

15.2 化学物質安全性の評価：化学物質安全性評価は実施されていない。**16：その他の情報**

この情報は現在の知識に基づいています。ただし、これは特定の製品機能の保証を構成するものではなく、法的に有効な契約上の関係を確立するものではありません。

- ・ 関連フレーズ
 - H226 可燃性液体と蒸気
 - H304 飲み込み、気管に入ると致命的
 - H413 長期的な影響により水生生物に有害を引き起こすことがある
- ・ 推奨使用制限
 - テクニカルデータシート (TDS) を参照してください。
- ・ SDS 発行部門：研究室
- ・ 連絡先：Dieter Zimmermann

• 略語と頭字語：

RID：国境を越えた国際的な輸送は、鉄道による危険物の国際輸送に関する規則
(Regulations on Rail)

IATA-DGR：国際航空運送協会（IATA）による危険物規制

ICAO：国際民間航空機関

ICAO-TI：国際民間航空機関（ICAO）による技術指導

ADR：道路に沿った危険物の国際運送に関する欧州合意（欧州合意）

IMDG：危険物に関する国際海上コード

IATA：国際航空運送協会

GHS：化学物質の分類と表示の世界調和システム

EINECS：既存の商業化学物質の欧州インベントリ

ELINCS：通知された化学物質の欧州リスト

CAS：ケミカルアブストラクトサービス（アメリカ化学協会の部門）

LC50：致死濃度 50%

LD50：致死量 50%

PBT：持続性、生物濃縮性および有毒性

vPvB：非常に持続性があり、非常に生物濃縮性が高い

Flam. Liq. 3：可燃性液体-区分 3

Asp. Tox. 1：呼吸器に有害-区分 1

Aquatic Chronic 4：水生環境に有害-長期水生ハザード-区分 4

情報源 REACH 指令 1907/2006/EC

• *以前のバージョンと比較したデータが変更されました。

REACH 指令 1907/2006 / EC による適合